

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 一人暮らしでも歳をとっても安心して暮らせる瀬戸市へ</p> <p>[質問趣旨]</p> <p>近年、全国で単身高齢者が増加している。低所得・自動車免許の返納・身体状況等の変化が日常生活に大きな影響を及ぼす。国は入院・施設入居の保証人や手続き、死後の整理などの課題に対し、公的支援の仕組みが必要と新制度を検討しているところである。本市の高齢化率は令和6年4月1日現在で30.2%。今後、すべての市民が一人暮らしでも歳をとっても安心して暮らせる瀬戸市となるよう、様々な課題に取り組む必要がある。今回はその中でも買い物支援と居住支援について伺う。</p>	<p>(1) 買い物困難者への支援</p>	<p>① 本市の山口地区ではボランティア組織による買い物支援プロジェクトが行われている。お買い物に困っている住民の皆さんを週に1回、市内スーパーへ送迎するという地域の皆様のあたたかい取り組みである。このような取り組みがニーズの高い他の地域においても広がることを期待するが、開始から現在までの利用状況の推移や地域ボランティアならではの課題について伺う。</p> <p>② 本市が愛知県から委託を受け実施していたモデル事業「高齢者の移動支援」は令和4年に終了。その後も引き続き道泉地区において、市内スーパー等への送迎に取り組んでいるが、現在の支援方法の問題点は何か、また、その改善策は検討されているか伺う。</p> <p>③ 買い物困難者は増加し、全国で移動スーパー販売が進んでいる。本市や近隣市でも移動販売業者とスーパーが連携し、買い物支援に取り組んでいる。本市では高齢化率の高い地域も多く、高齢者を始めとする買物が困難な方への支援として期待できる。買い物支援を目的として協定を締結し、連携しながら支援策を充実させてはと考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 本市では高齢者の買い物事情について、これまで調査は行われていないと聞いている。必要とされる支援を的確に提供するために、地域の実情やニーズを把握する必要があると考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) 居住支援について	<p>⑤今後、買い物困難者は増加することが予想される。買い物困難な方が生活や身体状況に合わせてサービスを選択できるよう、ニーズに合った支援提供で課題解決を図る必要があると考えるが、今後の支援メニューの拡充について方針を伺う。</p> <p>①本市は住宅確保要配慮者(居住に課題を抱える方)が住宅への円滑な入居を支援するため、令和2年度に瀬戸市居住支援協議会を設置している。構成団体は居住支援法人・不動産関係・支援団体、そして瀬戸市の関係各課となっている。各団体がどのように連携して取り組む仕組みとなっているか伺う。</p> <p>②居住支援協議会の設置状況は令和6年3月末時点で142協議会。うち、都道府県47(100%) 市区町村は95(5.5%)となっている。愛知県では名古屋市・岡崎市・瀬戸市・豊田市・半田市の5市が居住支援協議会を設置しているが、この設置状況を見ても居住支援の認知度は低いと考えられる。支援が必要な要配慮者をどのように支援へと結びつけるのか伺う。</p> <p>③入居支援を行うにあたり、入居可能な物件を増やしていくことも重要と考える。国土交通省の調査では、民間賃貸住宅のオーナーは家賃の支払いや室内での死亡・事故等の不安から高齢者の入居に抵抗があるとの結果が出ている。オーナーや不動産管理会社の方々に居住支援や協議会の役割をご理解いただくことが必要と考えるが、理解の促進をどう図っているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④瀬戸市居住支援協議会では令和 3 年の支援開始から住居成約率は年々上がり、令和 5 年度は相談件数に対し 56%の方が入居に至った。入居後の居住支援サービスがオーナーの不安解消につながっていると考えるが、具体的にどのような支援が行われているのか伺う。</p> <p>⑤保証人がいないことは入居を妨げる大きな要因となる。現在、本市の居住支援協議会では保証に関する案内は行っていないと聞く。保証人のいない相談者の居住支援については、現在どのような対応で解決しているか伺う。</p> <p>⑥住宅確保要配慮者が安心して居住できる環境を整備するため「住宅セーフティネット法」等の一部改正案が国会で審議されている。この改正案には、国による家賃債務保証業者の認定制度や居住サポート住宅の認定制度の創設がある。今後、協議会が果たす役割にますます需要が高まると予想される中で、この改正が本市の居住支援にどのように影響していくか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。